

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年12月9日(2021.12.9)

【公開番号】特開2020-85938(P2020-85938A)

【公開日】令和2年6月4日(2020.6.4)

【年通号数】公開・登録公報2020-022

【出願番号】特願2018-214927(P2018-214927)

【国際特許分類】

G 0 9 F	9/00	(2006.01)
F 2 1 S	2/00	(2016.01)
F 2 1 V	19/00	(2006.01)
G 0 2 F	1/13357	(2006.01)
G 0 2 F	1/1335	(2006.01)
H 0 1 L	33/00	(2010.01)
F 2 1 Y	105/10	(2016.01)
F 2 1 Y	115/10	(2016.01)

【F I】

G 0 9 F	9/00	3 3 6 B
F 2 1 S	2/00	4 7 0
F 2 1 V	19/00	1 5 0
F 2 1 V	19/00	1 7 0
G 0 2 F	1/13357	
G 0 2 F	1/1335	
H 0 1 L	33/00	L
G 0 9 F	9/00	3 3 6 A
F 2 1 Y	105:10	
F 2 1 Y	115:10	

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月28日(2021.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

遮光層LSは、透光性基板SUTとアノード電極ADとの間に設けられ、かつ、透光性基板SUTとカソード電極CDとの間に設けられる。遮光層LSの第1部分遮光層LSa、第2部分遮光層LSb及び第3部分遮光層LScは、同層に、透光性基板SUTの一方の面SUTaの上に設けられている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 2】

(第6実施形態の第7変形例)

図25は、第6実施形態の第7変形例に係る照明装置の断面図である。図25に示すように、第7変形例において、平坦化層LLが設けられず、カソード電極CD及びカソード

接続層 C D C N は、光取出し層 L P L の上に設けられている。具体的には、カソード接続層 C D C N は、光取出し層 L P L の側部 L P L a、傾斜部 L P L b、延出部 L P L c、対向部 L P L d 及び外縁部 L P L e に重なって設けられる。カソード電極 C D 及びカソード接続層 C D C N は、光取出し層 L P L を介してアノード電極 A D と絶縁される。第 7 変形例においても、頂部 L P L f は設けられず、カソード電極 C D は、複数の発光素子 L E D のカソード端子 E L E D 2 に電気的に接続される。